# 2026年12月期 第1四半期
# 決算説明資料

## CFD収益が業績全体を牽引、四半期ベースで過去最高業績を達成

2026年4月30日
GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

# アジェンダ

01 決算概要

02 事業の状況

03 Appendix

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# エグゼクティブ・サマリー

- **営業収益162.3億円、営業利益64.6億円となり、四半期ベースで過去最高業績を達成**
- **CFD収益が前年同期比3.5倍の64.0億円へ拡大し、業績全体を牽引**

**FY26 Q1 トピックス**

- **証券・FX事業**
  店頭FX：活況であった前年同期比で減収も、2025年後半の収益性低下局面からは回復傾向
  ＣＦＤ：金・銀・原油など収益性の高い商品CFDの売買代金が増加し、収益が急増
  株　式：取引手数料の無料化に伴い減収も、売買代金は市場増加率を上回る水準で増加
- **暗号資産事業**
  低調な市場を受けて前年同期比で減収、Q4'25の特殊要因が解消しステーキング収益は復調
- **その他**
  2026年3月27日付でLASHIC少額短期保険の株式取得が完了、少額短期保険業に本格参入
- **株主還元の強化**（配当性向65%以上＋DOE10%の下限指標を導入）
  配当性向65%に基づく配当額が配当予想を上回ったことを踏まえ、配当予想を上方修正し、
  Q1末の1株当たり配当金は13.69円に（2026年2月公表予想比：四半期ごと3.17円、年12.68円の上方修正）

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜決算サマリー（前年同期比）

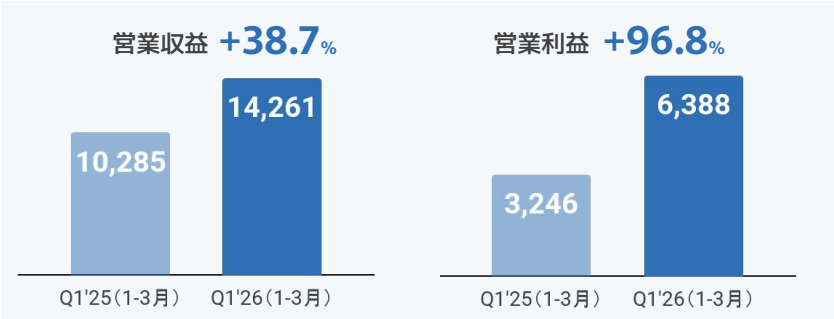
CFD収益が大幅に伸長した結果、四半期ベースで過去最高業績を達成

| （百万円） | Q1'25 (1-3月) | Q1'26 (1-3月) | Y/Y 増減額 | Y/Y 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 12,977 | 16,234 | +3,257 | +25.1% |
| 純営業収益 | 12,067 | 15,017 | +2,949 | +24.4% |
| 営業利益 | 4,221 | 6,462 | +2,240 | +53.1% |
| （営業利益率） | 32.5% | 39.8% | — | +7.3pt |
| 経常利益 | 3,569 | 6,435 | +2,865 | +80.3% |
| 最終利益 | 2,504 | 4,205 | +1,700 | +67.9% |

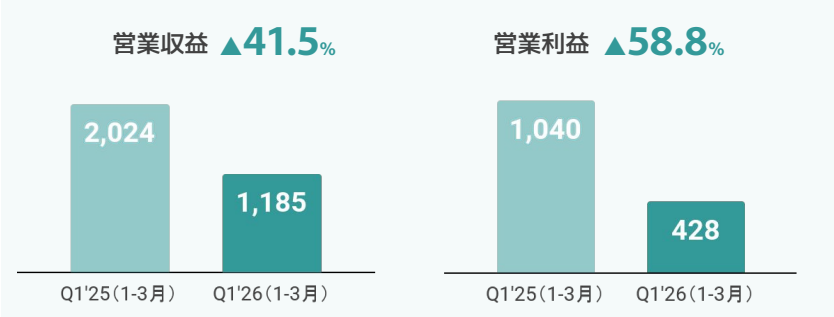
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜セグメント別の状況（前年同期比）

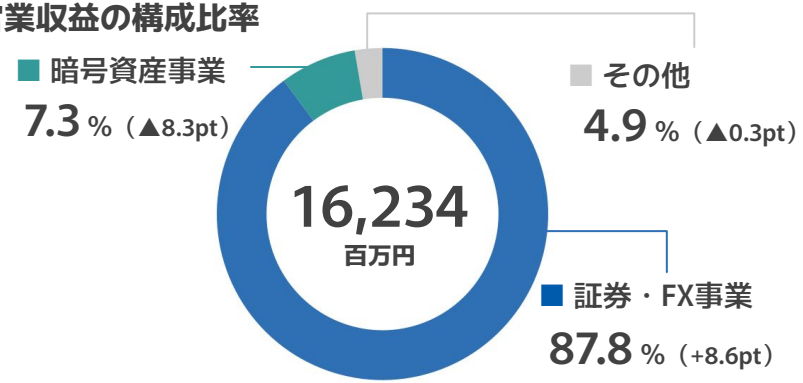
## ■ 証券・FX事業 （単位：百万円）



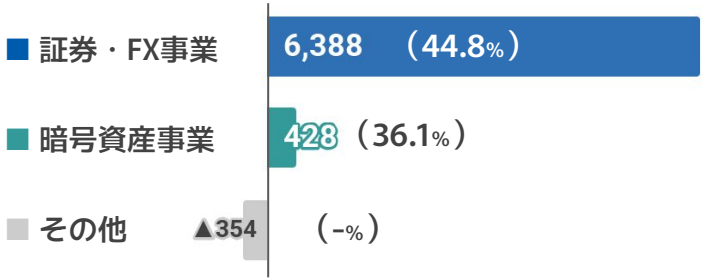

## ■ 暗号資産事業 （単位：百万円）




## 営業収益の構成比率



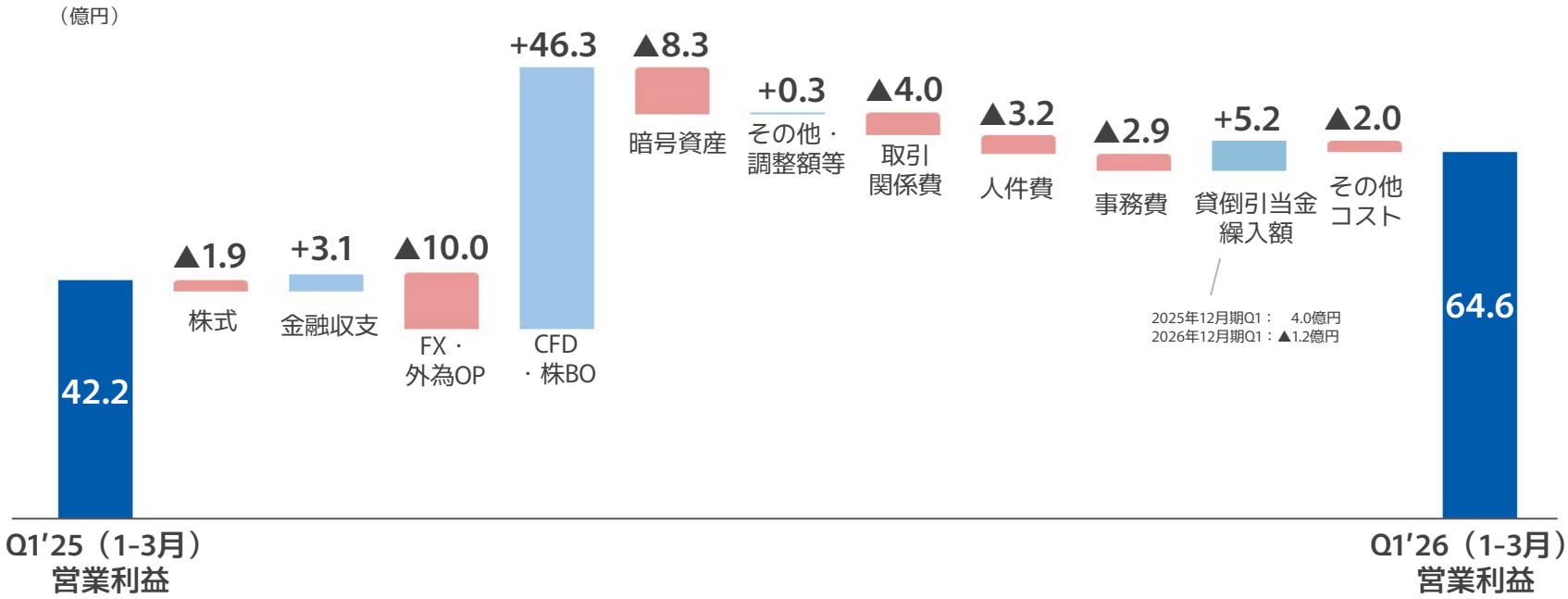

## 営業利益（営業利益率） （単位：百万円）




© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜営業利益増減（前年同期比）

## CFD収益が前年同期比46億円増と大幅に伸長、業績全体を大きく牽引

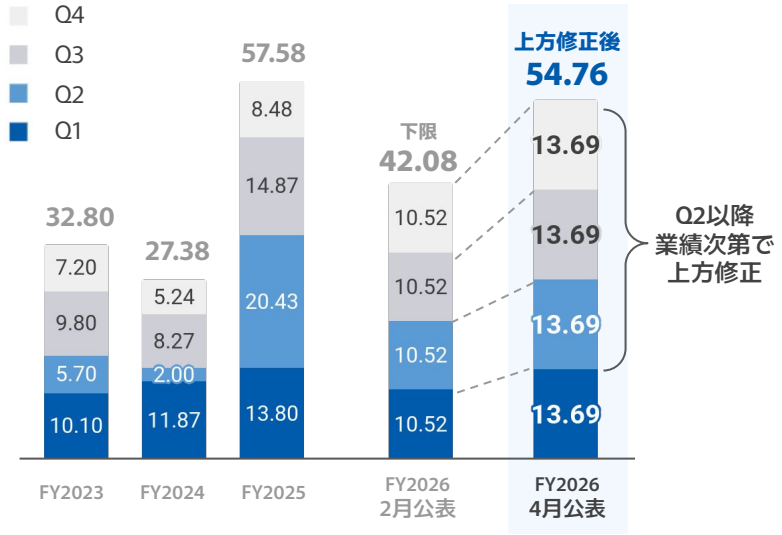



© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 株主還元｜配当

## 好業績を受けて配当予想を上方修正、Q1’26の1株当たり配当金は13.69円に
## （2026年2月公表の予想比：四半期ごと+3.17円、年+12.68円）

### 1株当たり配当金の推移と配当予想（円）




※ 配当下限額42.08円は、前期末の連結株主資本に対して10%を乗じた金額を元に算出しています。

### 2026年12月期の配当方針

下限指標DOE10%を導入し、1株当たり配当金の下限を年42.08円として親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向65%以上を目途に、四半期ごとに配当

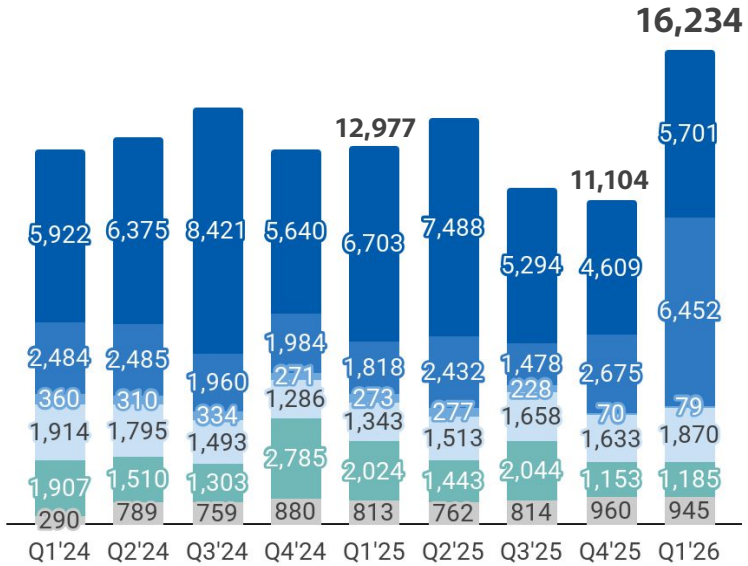
**Q1’26実績を踏まえ、年間配当予想を42.08円から54.76円へ上方修正し、増配分12.68円は各四半期に3.17円ずつ均等配分**

| | 確定 | 予想 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| FY2026 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 合計 |
| 2月公表 | 10.52 | 10.52 | 10.52 | 10.52 | 42.08 |
| 4月公表 | **13.69** | **13.69** | **13.69** | **13.69** | **54.76** |
| （増配分） | ＋3.17 | ＋3.17 | ＋3.17 | ＋3.17 | ＋12.68 |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期業績推移｜営業収益（セグメント別/商品別）

（百万円）

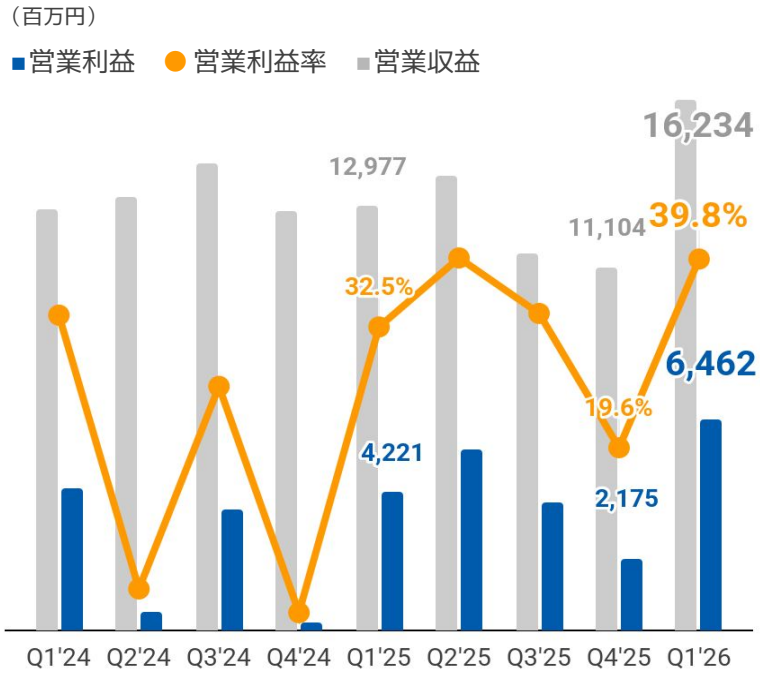



第2の収益の柱として育成を進めてきたCFDが
店頭FXを上回る収益規模へ伸長

| | Q1'26（1-3月） | 増減率 前Q比 | 増減率 前年同Q比 |
|---|---|---|---|
| FX・外為OP | 5,701 | +23.7% | ▲14.9% |
| CFD・株BO | 6,452 | +141.1% | +254.7% |
| 株式等 | 79 | +12.0% | ▲71.0% |
| 金融収益 | 1,870 | +14.5% | +39.3% |
| 暗号資産 | 1,185 | +2.7% | ▲41.5% |
| その他 | 945 | ▲1.5% | +16.2% |
| 合計 | 16,234 | +46.2% | +25.1% |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期業績推移｜営業利益・営業利益率

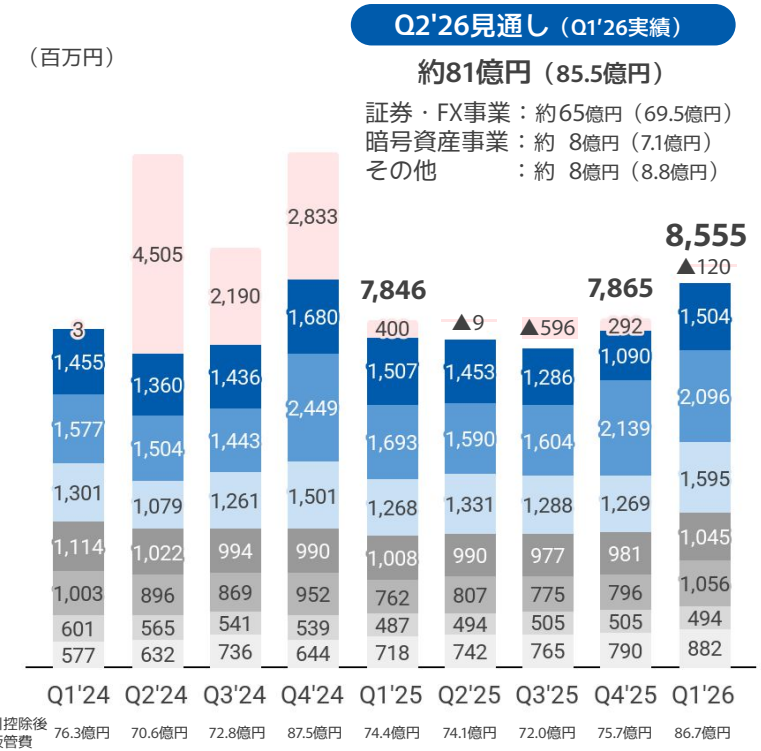



収益性の高いCFDの伸長が
業績・営業利益率の改善に大きく貢献

| 前Q比 | 前年同Q比 |
| --- | --- |
| +197.0% | +53.1% |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期業績推移｜販売費及び一般管理費




※ 見通しには貸倒引当金繰入額を含んでおりません。

一時的な資金調達費用等の増加や
好業績による賞与引当金繰入額の計上により
見通し比約6億円増で着地

| | Q1'26（1-3月） | 増減率 前Q比 | 増減率 前年同Q比 |
|---|---|---|---|
| 貸倒引当金繰入額 | ▲120 | – | – |
| 取引関係費 除,広宣費 | 1,504 | +38.0% | ▲0.1% |
| 広告宣伝費 | 2,096 | ▲2.0% | +23.8% |
| 人件費 | 1,595 | +25.7% | +25.8% |
| 不動産関係費 | 1,045 | +6.5% | +3.6% |
| 事務費 | 1,056 | +32.7% | +38.6% |
| 減価償却費 | 494 | ▲2.2% | +1.5% |
| その他 | 882 | +11.6% | +22.7% |
| 合計 | 8,555 | +8.8% | +9.0% |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# アジェンダ

01 決算概要

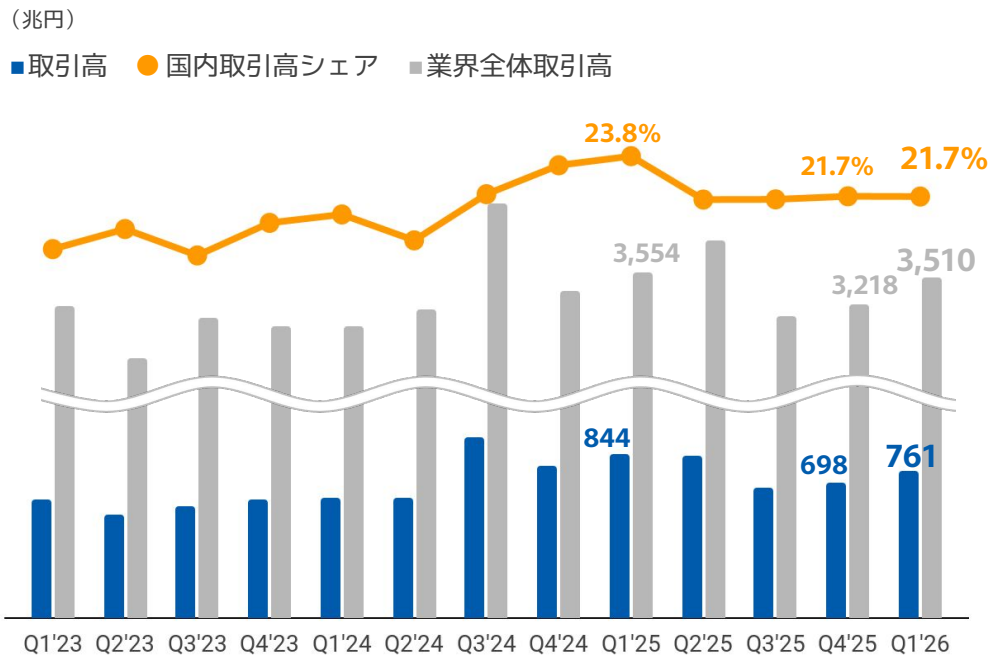
02 事業の状況

03 Appendix

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜店頭FX国内取引高シェアの推移

GMOクリック証券　GMO外貨　GMOコイン




## Q1'26取引高シェア

# 21.7%

取引高シェアは安定して推移

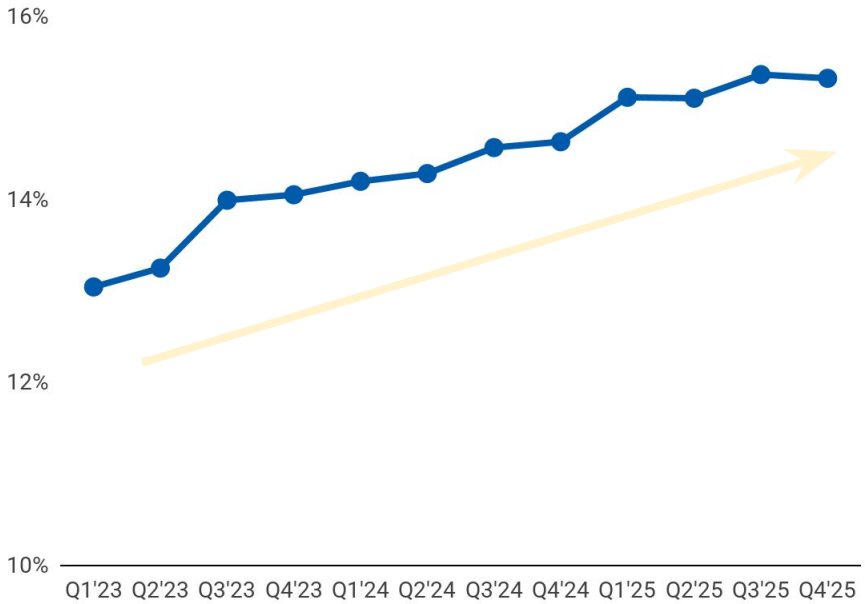
＜取引活性化に向けた取り組み＞
GMOクリック：設立20周年キャンペーン実施
GMO外貨：小口取引のスプレッドを恒久縮小
共通施策：スワップ還元強化を継続

金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成
※取引高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。Q3'23まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値、Q3'23以降はGMOコインの数値です。
※国内取引高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。
※業界全体取引高は、当社数値及び取引高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜店頭FX取引人数（QAU）シェアの推移

GMOクリック証券　GMO外貨　GMOコイン




## Q4'25 QAUシェア

# 15%超

取引人数シェアは15%超をキープ

＜ブランド認知度向上に向けた取り組み＞
GMO外貨：新CM放映（2026年1月～）
イメージキャラクター起用のCM展開による
ブランド認知拡大で新規顧客獲得を加速

金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成
※QAUシェア（四半期でのユニーク取引人数のシェア）は、金融先物取引業協会公表数値を市場全体としてGMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで算出しています。

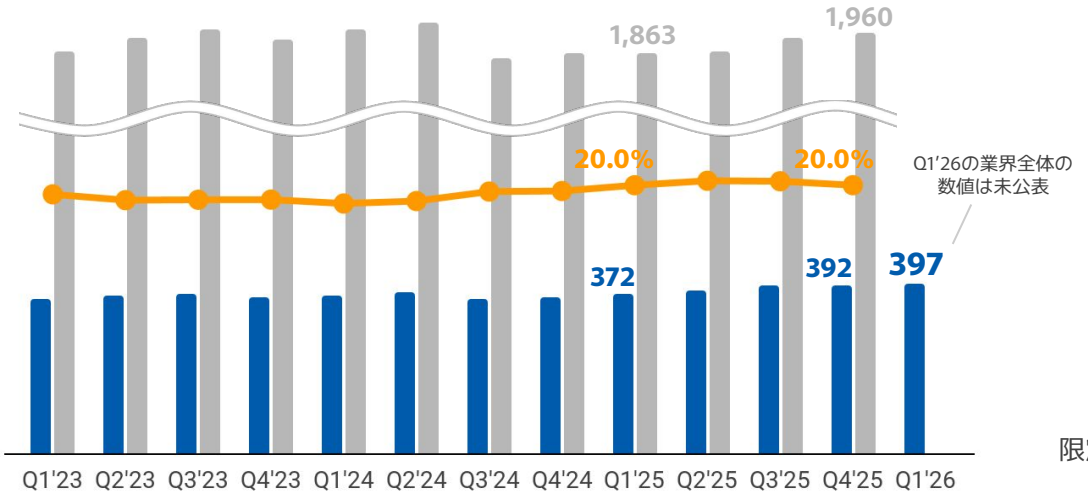
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜店頭FX預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券　GMO外貨　GMOコイン

（10億円）

■預り証拠金残高　●預り証拠金残高シェア　■業界全体預り証拠金残高




前年同Q末比

**+6.6%**

緩やかな増加傾向で推移
GMO外貨の伸びが大きく貢献

GMOクリック証券：+140.4億円
GMO外貨：+110.1億円
GMOコイン：▲6.3億円

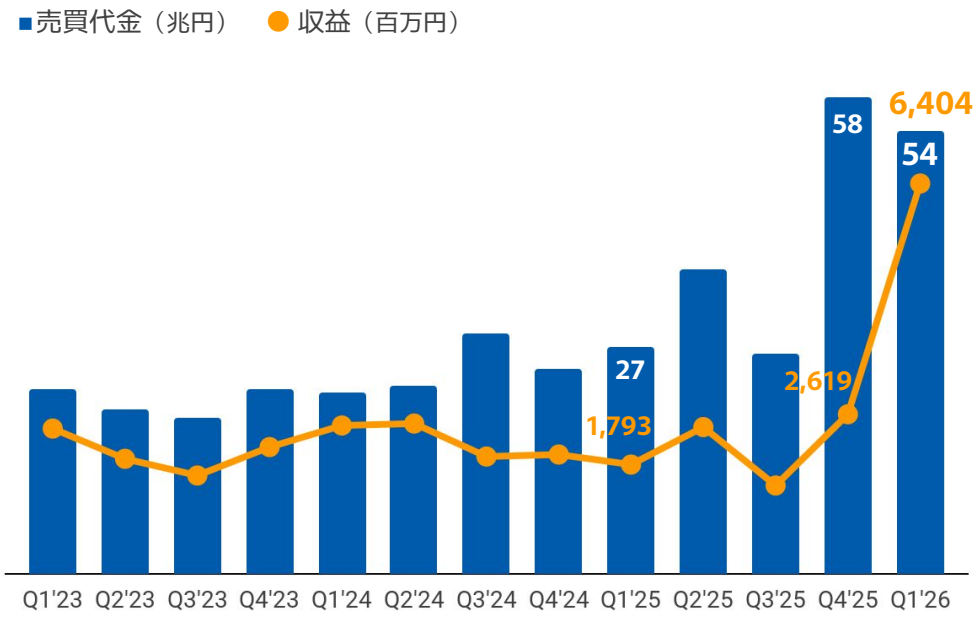
GMO外貨では大口建玉の保有が可能であり、
トルコリラなど高金利通貨の相場急変が
限定的であったことを背景にスワップ目的の建玉保有が
拡大したことで、預り証拠金残高が伸長

金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成（直近四半期（2026年1月-3月）は未公表）
※預り証拠金残高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。
　Q3'23まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値、Q3'23以降はGMOコインの数値です。
※預り証拠金残高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。
※業界全体預り証拠金残高は、当社数値及び預り証拠金残高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜CFD売買代金・収益の推移

GMOクリック証券　GMO外貨




※売買代金は、Q2'23以降、GMOクリック証券とGMO外貨の2社合算ベースで表示しています（GMO外貨は2023年4月にCFD取引サービスを開始）。
※収益は、当社連結損益計算書に基づくCFD収益です。

前年同Q比

売買代金　+95.3%

収　　益　+257.1%

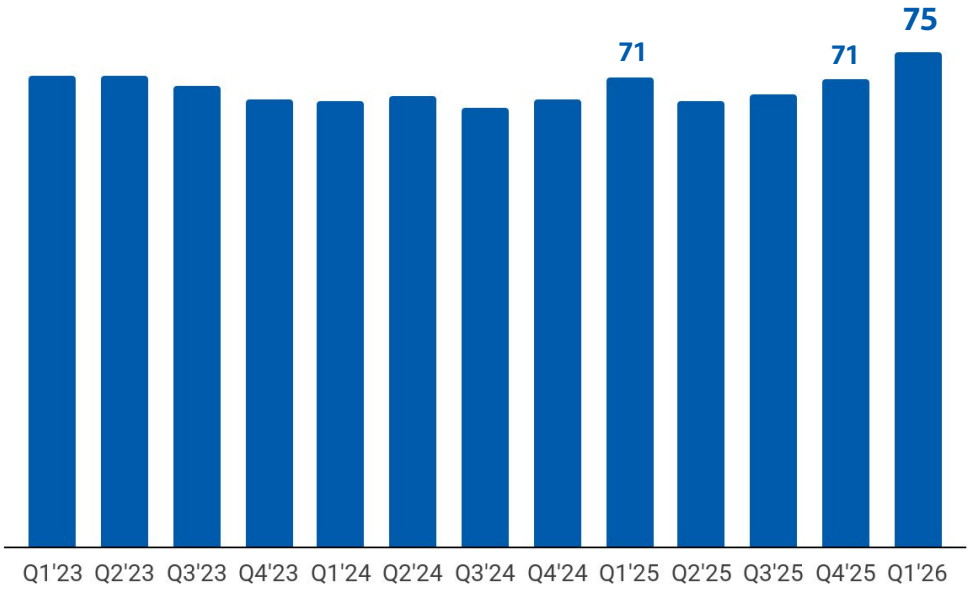
地政学リスクの高まりを受けて
金・銀・原油など商品市場の活況が継続
収益性の高い銘柄の売買代金が
増加したことで収益が大幅に伸長

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜CFD預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券　GMO外貨

（10億円）




※Q2'23以降、GMOクリック証券とGMO外貨の2社合算ベースで表示しています（GMO外貨は2023年4月にCFD取引サービスを開始）。

前年同Q末比

**+5.1%**

商品市場を中心に活況な相場を受け
預り証拠金残高も増加傾向

＜利便性向上に向けた取り組み＞

共通：市場環境・顧客ニーズを踏まえた
商品CFD「プラチナスポット」の取扱開始
（2026年4月～）

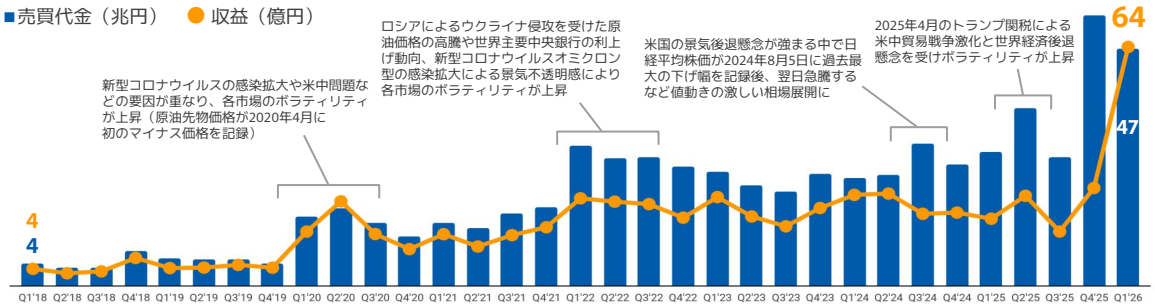
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜CFDのあゆみ

- 2010年4月、GMOクリック証券は日本初となる自社開発取引システムでCFD取引サービスの提供を開始
- 銘柄拡充と取引ツールの高度化を継続的に推進するとともに、預り証拠金残高・取引人数を着実に拡大し、市場の活況局面において取引規模の拡大と収益成長を実現

GMOクリック証券

2018年12月期以降の売買代金と収益の推移




国内店頭CFD取引高シェア

**11年連続 No.1**

（2014年～2024年）

| 150銘柄以上 | スマホ・PC | 少額取引可能 |
|---|---|---|
| 世界中の多様な資産に投資可能 | 進化し続ける使いやすいツール | 多様なニーズに応える商品設計 |



## 立ち上げ期
サービス基盤の構築と銘柄整備

2010/4 ：CFD取引サービス開始（株価指数先物CFD）
2010/7 ：金・原油など商品先物CFDの取扱開始
2011/5 ：アジア・欧州の主要株価指数銘柄を追加
2011/8 ：CFD取引画面を大幅リニューアル
2011/11：「プラチナチャートCFD」の提供開始
2011/11：取扱銘柄を大幅リニューアル、決済期日のない銘柄へ順次切り替え

## 拡大期
ラインナップ強化とスマホ対応

2014/12：外国株CFD取引の取扱開始
2015/4 ：スマホアプリ「CFDroid」リリース
2015/6 ：スマホアプリ「iClickCFD」リリース
2016/1 ：天然ガスなど2銘柄を追加
2016/3 ：海外ETF（上場投信）銘柄の取扱開始
2016/8 ：レバETF・ETN系など6銘柄など追加
2018/3 ：リッチクライアント型取引ツール「はっちゅう君CFD」リリース

## 進化・成長加速期
取引ツールの継続的な改善と商品力強化による成長加速

2020/12：
旧スマホアプリを統合し、機能・UI/UXを全面的に再設計した「GMOクリック CFD」をリリース。以降、チャートやテクニカル指標など、継続的な機能強化を実施

GMOクリック CFD

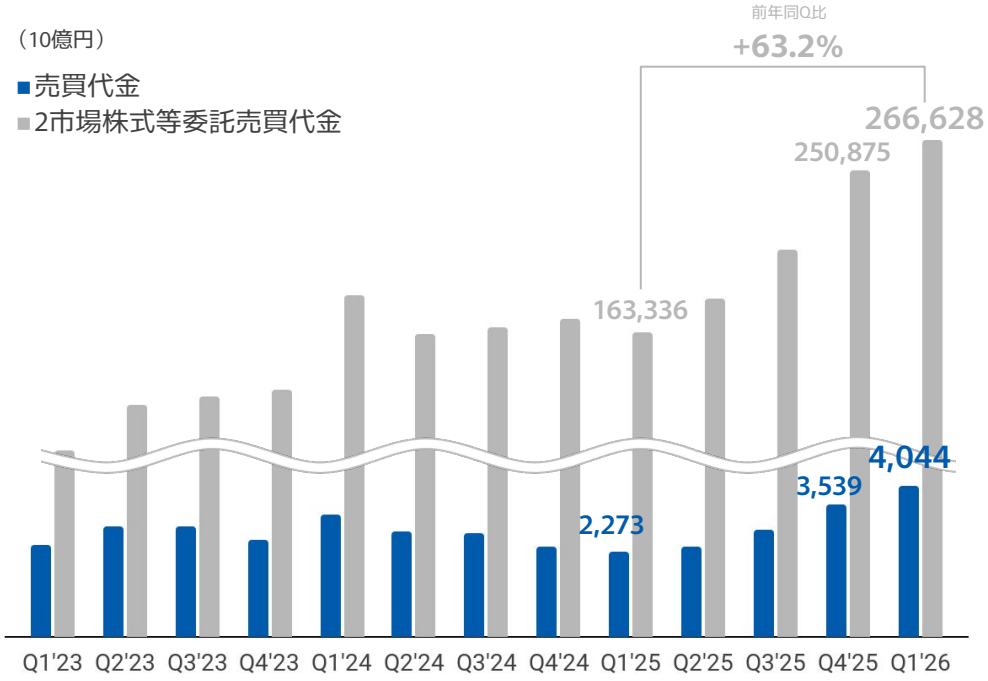
2021/9 ：株式系など7銘柄を追加
2022/4 ：半導体関連などの9銘柄を追加
2023/9 ：最小取引数量を引き下げ少額取引に対応
2023/10：小麦など農作物系商品CFD5銘柄を追加
2023/11：ガソリンなど商品系3銘柄を追加
2023/12：指数系など12銘柄を追加
2024/6 ：「GMOクリック CFD」Apple Watchに対応
2024/9 ：米国株など10銘柄追加、NYダウ全銘柄網羅
2026/4 ：プラチナスポットの取扱再開

※国内店頭CFD取引高シェアは、日本証券業協会及び日本商品先物取引協会の統計情報より算出しています（2014年1月～2024年12月）。集計対象は、店頭証券CFDは個別株・株価指数・債券・その他有価証券、店頭商品CFDはエネルギー・貴金属・農産物です。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜株式売買代金の推移

GMOクリック証券




日本取引所グループ公表資料より当社作成
※2市場株式等委託売買代金は、当社数値との同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/20スケールで表示しています。
※売買代金シェアは、日本取引所グループ公表数値を市場全体として算出しています。

前年同Q比

**+77.9%**

活況な相場を受けて
売買代金は4四半期連続で増加
GMOクリック証券は
市場を上回る伸びを達成

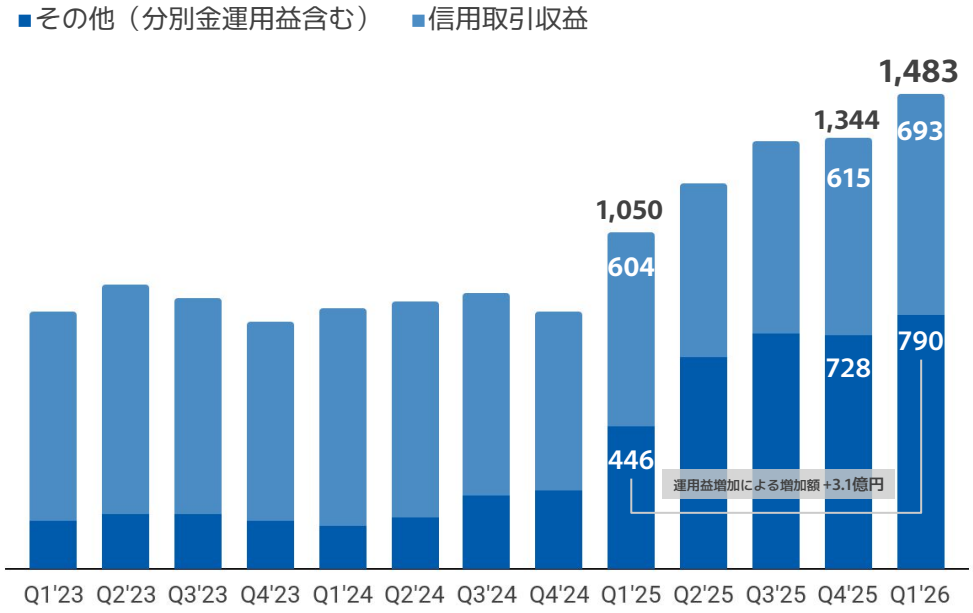
Q1'26売買代金シェア：1.5%
（Q4'25：1.4%）

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜金融収益の推移

GMOクリック証券

（百万円）




前年同Q比

**+41.1%**

金利上昇により
顧客分別金信託の運用益が増加
信用取引収益も増加傾向

＜預り資産増加に向けた取り組み＞
信用取引の金利優位性を訴求した広告展開、
株式移管手数料のキャッシュバック
キャンペーン実施

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜タイ証券における債権残高の状況

## 約定弁済契約に基づく債権残高は、前期末から約7億円減少して約72億円に
## （タイバーツ建では約111百万THBの減少）

■ 2026年3月末時点

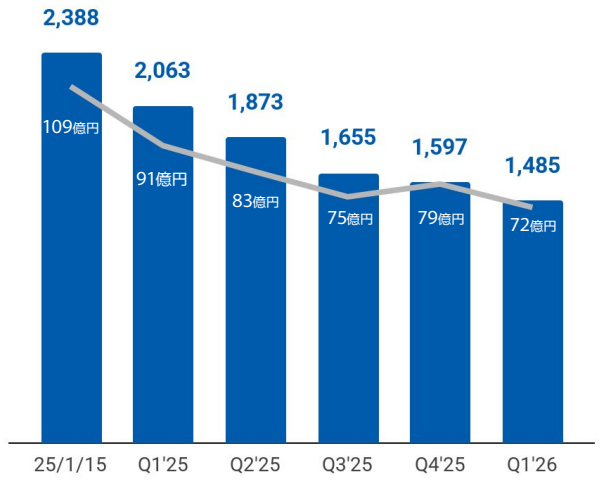
| | |
|---|---|
| **債権残高※** | **7,221** 百万円 |
| 保全率 | **220.0** % |
| 貸倒引当金 | 632 百万円 |
| **最大リスク額** | **6,588** 百万円 |

**担保の内訳**

| | |
|---|---|
| 株式 | 11,443 百万円 |
| 不動産 | 4,268 百万円 |
| 社債 | 174 百万円 |
| **合計** | **15,886** 百万円 |

※約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■約定弁済契約に基づく債権残高（百万THB）

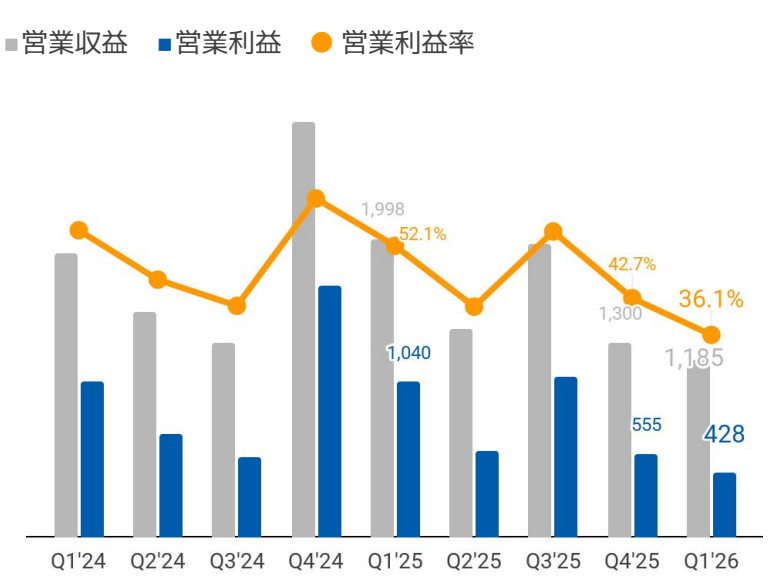


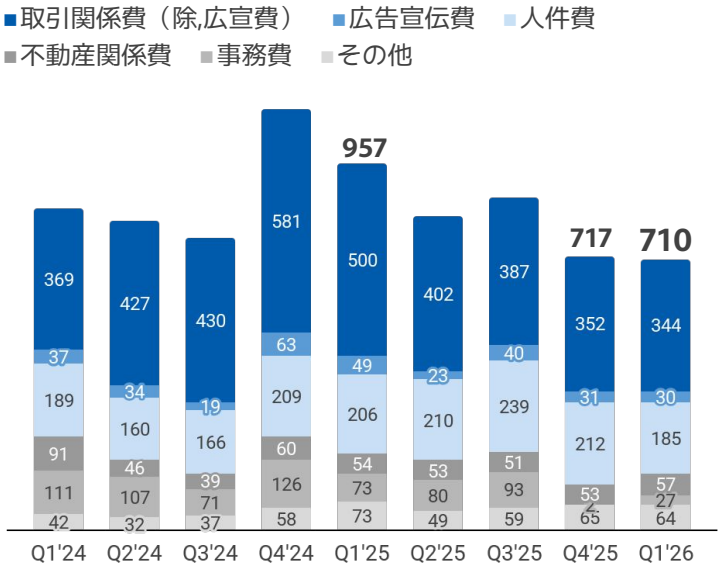

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜業績推移

## 市場低迷に伴うカバー環境の悪化により営業利益率が低下も、コスト最適化によるミニマム運営体制で収益確保を推進

（百万円）



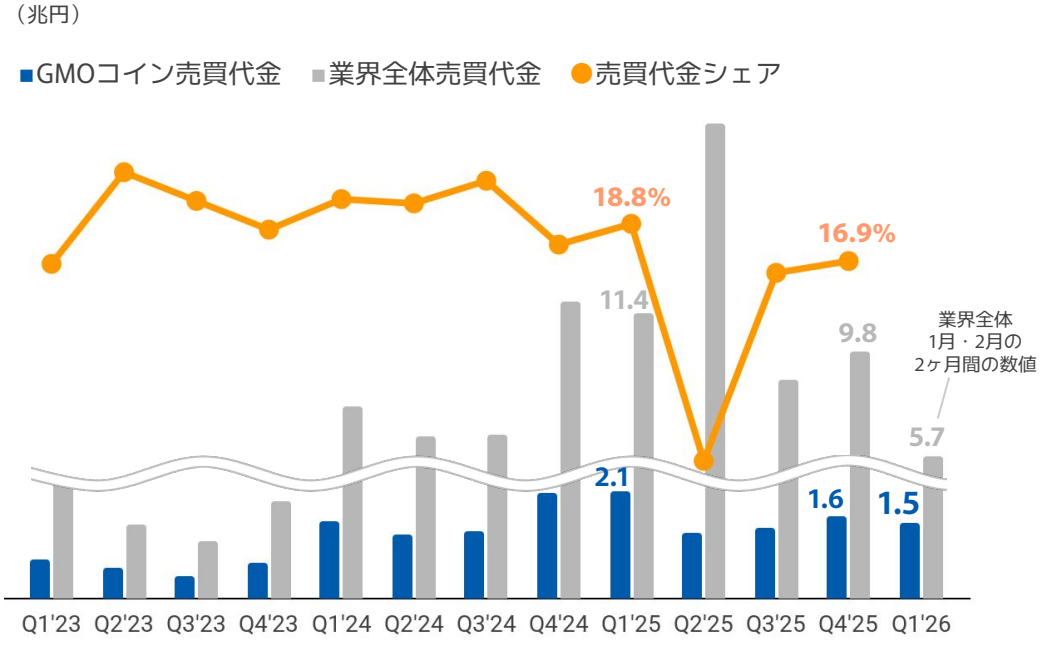




※2025年12月期第4四半期において、ステーキング運用手数料のうち顧客負担分について、当社費用から当社立替金へ処理方法を変更いたしました。本変更は営業収益と費用に係るものであり、営業利益への影響はありません。
本変更は2025年12月期第4四半期に一括して反映しましたが、比較の有用性を高める観点から、本ページのグラフに限り、当該影響額を各四半期の発生ベースで表示しております。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜売買代金の推移

GMOコイン




日本暗号資産等取引業協会「統計情報」より当社作成
※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。
※売買代金シェアは、日本暗号資産等取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。
※業界全体売買代金は、当社数値及び売買代金シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

前年同Q比

**▲28.7%**

＜利便性向上に向けた施策＞
流動性を重視した銘柄の見直しによる
ラインナップの最適化、
市場トレンドを踏まえた銘柄追加

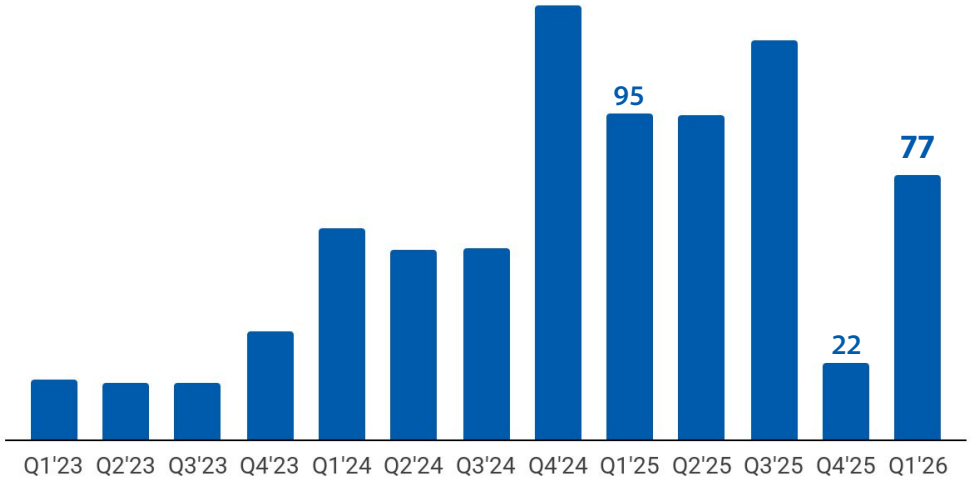
2026年1月に「スイ（SUI）」、
3月に国内初の「ワイルダーワイルド（WILD）」
4月に金・銀・プラチナに連動する「ジパング
コイン（ZPG）」シリーズの取り扱いを開始

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜ステーキング収益の推移

GMOコイン

（百万円）




前年同Q比

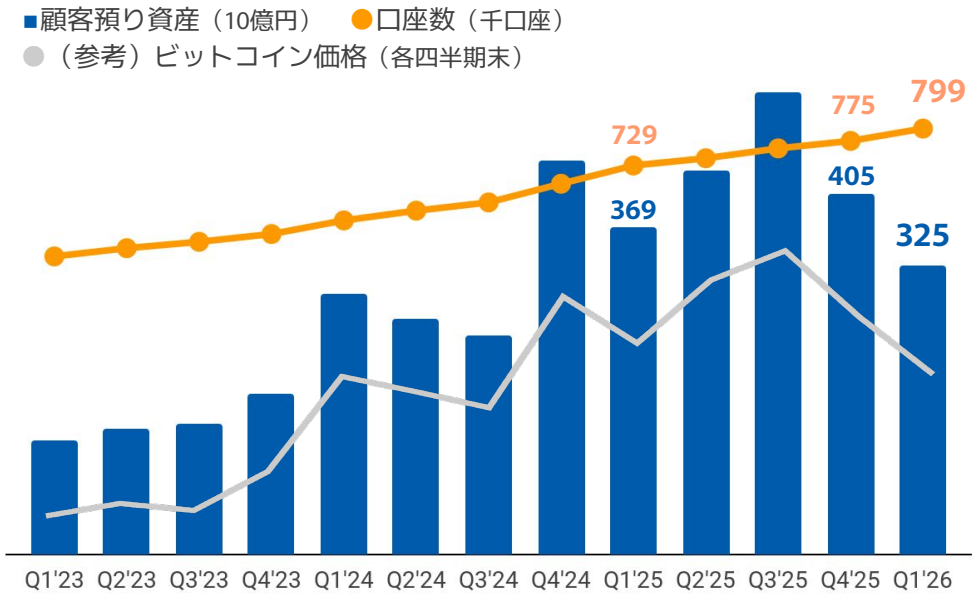
**▲18.9%**

Q4’25の特殊要因の解消により
ステーキング収益は復調も
市場環境からステーキング報酬
（利回り）低下により伸びは限定的

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜口座数と顧客預り資産の推移

GMOコイン




※ビットコイン価格（各四半期末）は、GMOコイン販売所におけるMIDレートの終値に基づき作成しています。

前年同Q末比

口座数 +6.9万口座

預り資産 ▲12.0%

口座数は堅調に推移も
暗号資産価格の下落に伴い
預り資産は減少

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜国内暗号資産業界を取り巻く環境の変化

- 2026年4月10日、政府は暗号資産を「金融商品」として規制する金融商品取引法改正案を閣議決定（今国会で成立の場合、2027年度に施行の見通し）
- 体制整備に伴うコスト増加はあるものの、投資家保護の強化により市場の健全性・信頼性が向上し、中長期的な市場拡大を見込む

| 主なポイント | 現行 | 改正案 |
|---|---|---|
| 規制法 | 資金決済法 | 金融商品取引法 |
| 位置付け | 支払い手段 | 金融商品（投資対象） |
| 不公正取引 | 規制なし | インサイダー取引を規制 |
| 情報開示 | 任意 | 発行者に年1回の情報開示を義務付け |
| 無登録業者への罰則 | 拘禁刑：3年以下<br>罰　金：300万円以下 | 拘禁刑：10年以下<br>罰　金：1000万円以下 |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# その他｜少額短期保険




**2026年3月27日に**
**LASHIC少額短期保険株式会社が**
**グループジョイン**

LASHIC少額短期保険は同日付で
「GMO少額短期保険株式会社」へ商号を変更
新商品の開発に着手し
中長期的な事業拡大を目指す

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# その他｜サービス横断の共通ID「1アカウント」

2025年12月 GMOクリック証券
GMOコイン

2026年2月 GMOクリニック・マップ
カラバコ 空箱 by GMO
TRADE ISLAND

2026年3月 Adam by GMO

2026年4月 GMOオフィスサポート

**2025年12月のローンチ以降、**
**連携サービス数は 7件に**

連携サービスを拡大し、
共通IDとしての魅力向上を図る




© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# アジェンダ

01 決算概要

02 事業の状況

**03 Appendix**

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# ビジョン・成長戦略｜持続的成長に向けて

テクノロジー活用余地が大きく成長性の高い分野に積極的に投資
「No.1プラットフォーム」を創出し、持続的成長を目指す

## 事業ポートフォリオの多角化

GMOクリック証券
GMO外貨　GMOコイン

**主力事業の収益最大化**

シナジー発揮と経営効率を追求
圧倒的な顧客基盤を構築し
成長原資を創出

×

GMOオフィスサポート
ヘルステックONE by GMO　1アカウント

**新規事業への投資**

「安さ」と「利便性」を追求
成長性の高い分野での
新たな価値創造と成長を図る

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜決算サマリー（前四半期比）

| （百万円） | Q4'25 （10-12月） | Q1'26 （1-3月） | Q/Q 増減額 | Q/Q 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 営業収益 | 11,104 | 16,234 | +5,130 | +46.2% |
| 純営業収益 | 10,041 | 15,017 | +4,975 | +49.6% |
| 営業利益 | 2,175 | 6,462 | +4,286 | +197.0% |
| （営業利益率） | 19.6% | 39.8% | ― | +20.2pt |
| 経常利益 | 2,402 | 6,435 | +4,033 | +167.9% |
| 最終利益 | 1,537 | 4,205 | +2,667 | +173.5% |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜セグメント別の状況（前四半期比）

（ ）内は前四半期比

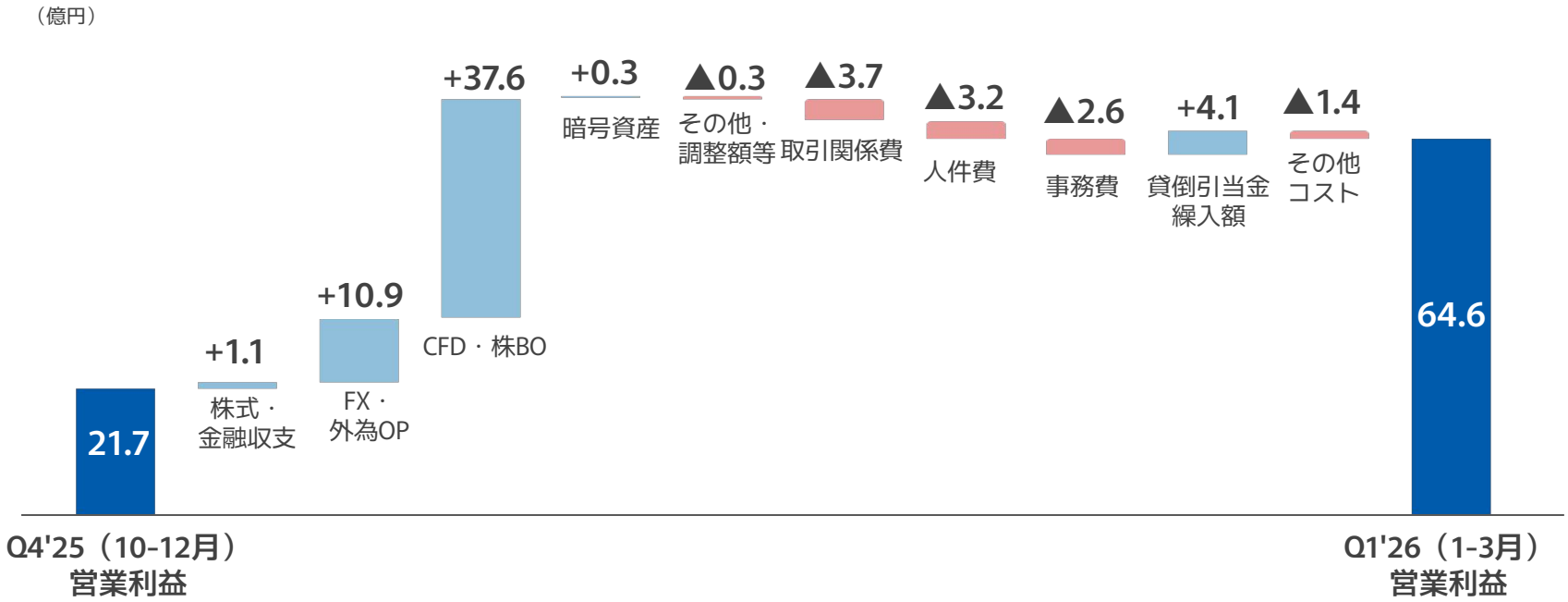
（百万円）

| | | Q4'25（10-12月） | Q1'26（1-3月） | |
|---|---|---|---|---|
| 証券・FX事業 | 営業収益 | 9,196 | 14,261 | （+55.1%） |
| | 営業利益 | 1,884 | 6,388 | （+238.9%） |
| | （営業利益率） | 20.5% | 44.8% | （+24.3pt） |
| 暗号資産事業 | 営業収益 | 1,153 | 1,185 | （+2.7%） |
| | 営業利益 | 555 | 428 | （▲22.9%） |
| | （営業利益率） | 48.1% | 36.1% | （▲12.0pt） |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# Q1’26（1-3月）｜営業利益増減（前四半期比）

## FXの復調とCFD収益の伸長により大幅増益

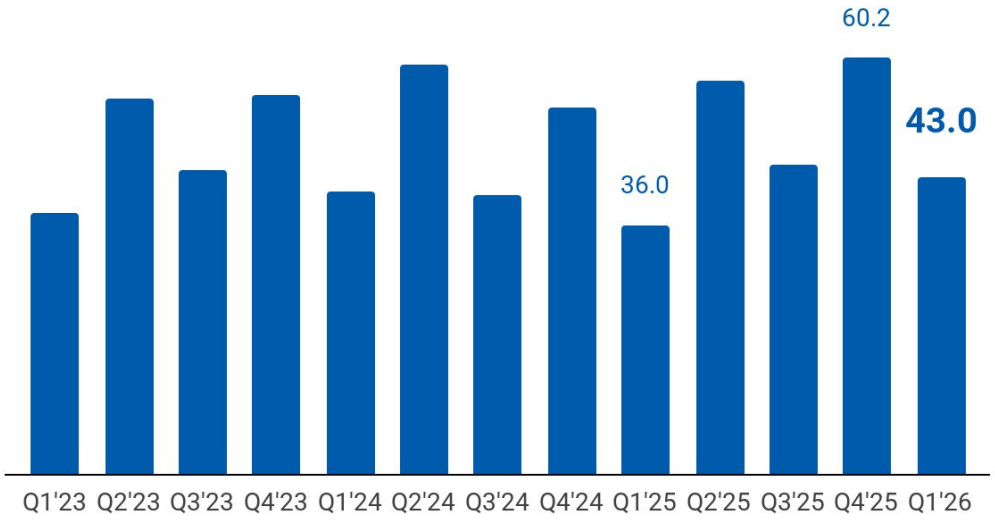



© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX｜貸株残高の推移

（10億円）

GMOクリック証券




## 安定的に推移

足元（4/27）は706億円

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX｜タイ証券における債権残高の状況

## 約定弁済契約に基づく債権残高は、前期末から約7億円減少して約72億円に（タイバーツ建では約111百万THBの減少）

### ■ 全債権・担保の状況

（単位：百万円）

| 項目 | | 約定弁済契約債権※ | その他不良債権 |
|---|---|---|---|
| 残高 | | **7,221** | **18,335** |
| 担保の状況 | 株式 | 11,443 | — |
| | 不動産 | 4,268 | — |
| | 社債 | 174 | — |
| | 合計 | **15,886** | — |
| 保全率 | | 220.0% | — |
| 貸倒引当金 | | **632** | **18,335** |
| 貸倒引当金の計上方法 | | 延滞の有無に関わらず、債務者ごとに貸付残高から担保評価額を控除した金額を計上 | |
| 担保の評価方法 | | ・株式：期末株価に担保株式数を乗じたもの<br>・不動産：SEC登録の不動産鑑定士による鑑定評価に一定の掛け目を乗じたもの<br>・その他：額面 | |
| 最大リスク額（約定弁済契約残高-約定弁済契約の貸倒引当金＋その他不良債権の担保額） | | **6,588** | |

※ 約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

### ■ 約定弁済契約債権の保全率ごとの残高

（単位：百万円）

| 保全率 | 残高 | 貸倒引当金 |
|---|---|---|
| 0～100% | 1,339 | 395 |
| 100%～150% | 963 | 237 |
| 150%～200% | 231 | — |
| 200%～ | 4,687 | — |
| 合計 | **7,221** | **632** |

※ 円表記の各数値：2026年3月31日時点のレートで円換算

＜参考情報＞
過去2事業年度に実施した担保株式の強制処分時における株価の下落率
・最大値 ▲79.3%　・平均値 ▲47.0%　・最小値 ▲11.4%

### ■ 約定弁済契約債権の回収計画について

- **2025年中に5名が完済**し、約定弁済契約を締結している相手方は**15名から10名に減少**
- 約定弁済契約に従い回収を行い、**2026年中**に債権元本全体の**9割以上を回収**する計画

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期推移｜PL

（単位：百万円）

| | FY2025 | | | | | FY2026 | | | | | Q1（1-3月） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 12,977 | 13,916 | 11,519 | 11,104 | 49,518 | 16,234 | - | - | - | - | 3,257 | 25.1% |
| 受入手数料 | 1,298 | 1,048 | 1,099 | 864 | 4,310 | 785 | - | - | - | - | ▲512 | ▲39.5% |
| トレーディング損益 | 9,610 | 10,634 | 8,022 | 7,792 | 36,059 | 12,730 | - | - | - | - | 3,120 | 32.5% |
| 金融収益 | 1,366 | 1,555 | 1,705 | 1,682 | 6,309 | 1,920 | - | - | - | - | 554 | 40.6% |
| その他の営業収益 | 35 | 38 | 27 | 10 | 111 | 10 | - | - | - | - | ▲25 | ▲71.5% |
| その他の売上高 | 667 | 640 | 664 | 754 | 2,726 | 788 | - | - | - | - | 120 | 18.1% |
| 金融費用 | 708 | 725 | 794 | 816 | 3,045 | 965 | - | - | - | - | 256 | 36.2% |
| 売上原価 | 200 | 233 | 204 | 246 | 884 | 252 | - | - | - | - | 51 | 25.6% |
| 純営業収益 | 12,067 | 12,958 | 10,520 | 10,041 | 45,587 | 15,017 | - | - | - | - | 2,949 | 24.4% |
| 販売費及び一般管理費 | 7,846 | 7,402 | 6,606 | 7,865 | 29,721 | 8,555 | - | - | - | - | 708 | 9.0% |
| 営業利益 | 4,221 | 5,555 | 3,914 | 2,175 | 15,866 | 6,462 | - | - | - | - | 2,240 | 53.1% |
| 営業外収益 | 79 | 148 | ▲60 | 47 | 214 | 292 | - | - | - | - | 213 | 269.7% |
| 営業外費用 | 730 | 219 | 52 | ▲179 | 823 | 319 | - | - | - | - | ▲411 | ▲56.3% |
| 経常利益 | 3,569 | 5,484 | 3,800 | 2,402 | 15,257 | 6,435 | - | - | - | - | 2,865 | 80.3% |
| 特別利益 | 5 | 5 | 5 | ▲6 | 9 | - | - | - | - | - | ▲5 | - |
| 特別損失 | 0 | 41 | 134 | 79 | 255 | 79 | - | - | - | - | 79 | - |
| 税金等調整前四半期純損益 | 3,575 | 5,448 | 3,672 | 2,316 | 15,012 | 6,356 | - | - | - | - | 2,780 | 77.8% |
| 法人税等 | 1,087 | 1,827 | 1,025 | 820 | 4,760 | 2,263 | - | - | - | - | 1,175 | 108.1% |
| 親会社株主に帰属する四半期純損益 | 2,504 | 3,707 | 2,698 | 1,537 | 10,448 | 4,205 | - | - | - | - | 1,700 | 67.9% |

※特別損失の増減率は1,000%を超えるため、「－」と記載しています。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期推移｜セグメント別/商品別の業績

（単位：百万円）

| | FY2025 | | | | | FY2026 | | | | | Q1（1-3月） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | 増減額 | 増減率 |
| 証券・FX事業 | | | | | | | | | | | | |
| 営業収益 | 10,285 | 11,833 | 8,810 | 9,196 | 40,125 | 14,261 | - | - | - | - | 3,976 | 38.7% |
| 株式・ETF等* | 273 | 277 | 228 | 70 | 849 | 79 | - | - | - | - | ▲194 | ▲71.0% |
| 取引所FX・取引所CFD | 114 | 96 | 82 | 134 | 428 | 133 | - | - | - | - | 18 | 16.2% |
| 通貨関連店頭デリバティブ | 6,703 | 7,488 | 5,294 | 4,609 | 24,096 | 5,701 | - | - | - | - | ▲1,001 | ▲14.9% |
| CFD・株BO | 1,818 | 2,432 | 1,478 | 2,675 | 8,405 | 6,452 | - | - | - | - | 4,633 | 254.7% |
| 金融収益 | 1,343 | 1,513 | 1,658 | 1,633 | 6,149 | 1,870 | - | - | - | - | 527 | 39.3% |
| その他 | 31 | 25 | 67 | 71 | 196 | 24 | - | - | - | - | ▲7 | ▲22.6% |
| 営業利益 | 3,246 | 5,167 | 3,122 | 1,884 | 13,420 | 6,388 | - | - | - | - | 3,142 | 96.8% |
| 暗号資産事業 | | | | | | | | | | | | |
| 営業収益 | 2,024 | 1,443 | 2,044 | 1,153 | 6,666 | 1,185 | - | - | - | - | ▲839 | ▲41.5% |
| 営業利益 | 1,040 | 576 | 1,074 | 555 | 3,246 | 428 | - | - | - | - | ▲611 | ▲58.8% |
| その他 | | | | | | | | | | | | |
| 営業収益 | 670 | 639 | 664 | 754 | 2,729 | 788 | - | - | - | - | 117 | 17.5% |
| 営業利益 | ▲64 | ▲188 | ▲283 | ▲264 | ▲800 | ▲354 | - | - | - | - | - | - |

※株式・ETF等は、株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料を含みます。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期推移｜販売費及び一般管理費

（単位：百万円）

| | FY2025 | | | | | FY2026 | | | | | Q1（1-3月） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | 通期 | 増減額 | 増減率 |
| 取引関係費 | 3,200 | 3,044 | 2,890 | 3,229 | 12,365 | 3,601 | - | - | - | - | 401 | 12.5% |
| （内、広告宣伝費） | 1,693 | 1,590 | 1,604 | 2,139 | 7,028 | 2,096 | - | - | - | - | 403 | 23.8% |
| 人件費 | 1,268 | 1,331 | 1,288 | 1,269 | 5,157 | 1,595 | - | - | - | - | 327 | 25.8% |
| 不動産関係費 | 1,008 | 990 | 977 | 981 | 3,958 | 1,045 | - | - | - | - | 36 | 3.6% |
| 事務費 | 762 | 807 | 775 | 796 | 3,142 | 1,056 | - | - | - | - | 294 | 38.6% |
| 減価償却費 | 487 | 494 | 505 | 505 | 1,993 | 494 | - | - | - | - | 7 | 1.5% |
| 租税公課 | 367 | 394 | 423 | 440 | 1,626 | 523 | - | - | - | - | 155 | 42.4% |
| 貸倒引当金繰入額 | 400 | ▲9 | ▲596 | 292 | 86 | ▲120 | - | - | - | - | ▲520 | - |
| のれん償却額 | 268 | 267 | 268 | 268 | 1,072 | 273 | - | - | - | - | 5 | 2.0% |
| その他 | 83 | 79 | 73 | 81 | 318 | 85 | - | - | - | - | 2 | 2.5% |
| 販売費及び一般管理費 | 7,846 | 7,402 | 6,606 | 7,865 | 29,721 | 8,555 | - | - | - | - | 708 | 9.0% |

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 四半期推移｜主要KPI

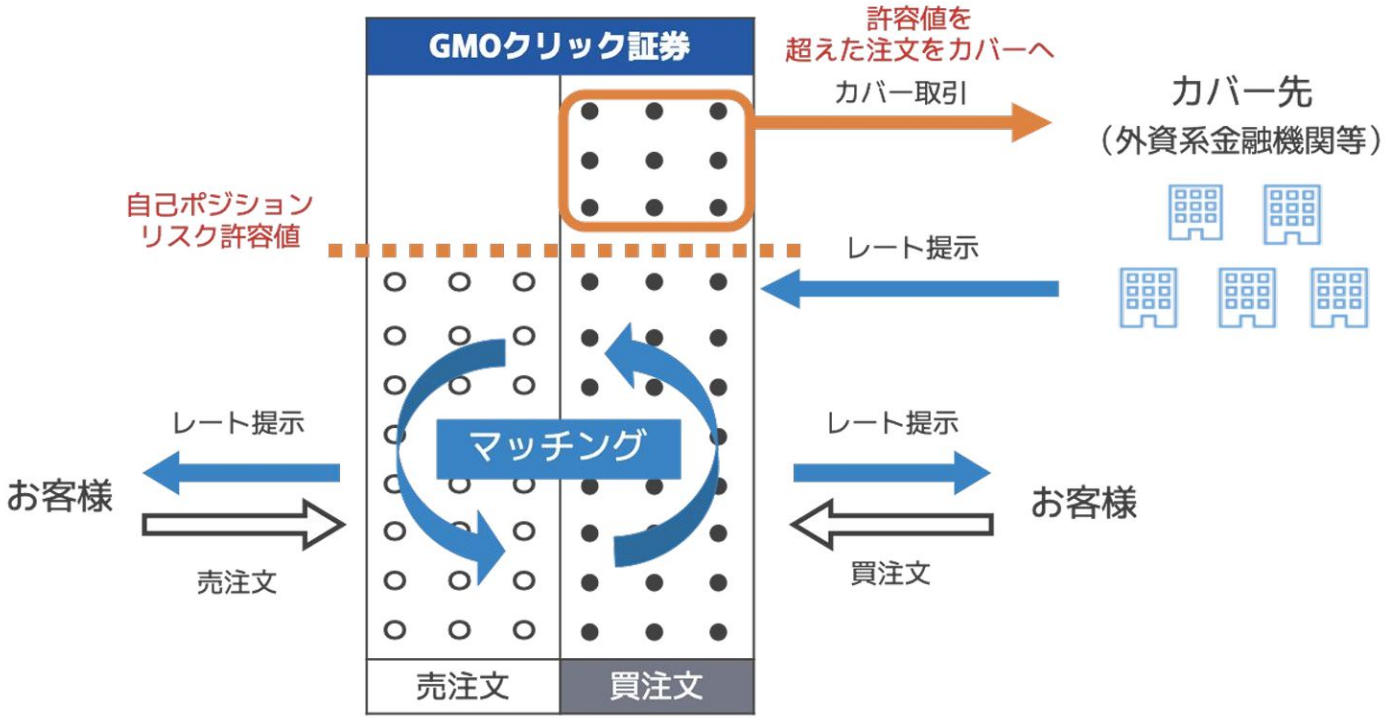
| | | | FY2025 | | | | FY2026 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 |
| **GMOクリック証券** | | | | | | | | | | |
| 株式 | 売買代金 | （百万円） | 2,273,384 | 2,432,020 | 2,875,901 | 3,539,526 | 4,044,878 | - | - | - |
| | 約定件数 | （件） | 2,140,688 | 2,267,087 | 2,383,117 | 2,612,778 | 3,098,222 | - | - | - |
| | 信用取引残高 | （百万円） | 111,825 | 100,375 | 104,403 | 107,495 | 122,081 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | 539,767 | 544,173 | 549,370 | 556,001 | 565,573 | - | - | - |
| 店頭FX | 売買代金 | （億円） | 6,836,465 | 6,783,566 | 5,422,804 | 5,556,406 | 6,124,189 | - | - | - |
| | 取引数量 | （百万通貨） | 4,767,344 | 4,931,610 | 3,798,812 | 3,766,579 | 4,164,255 | - | - | - |
| | 預り証拠金残高 | （百万円） | 255,248 | 260,573 | 269,111 | 268,880 | 269,288 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | 850,319 | 856,646 | 862,968 | 870,198 | 879,334 | - | - | - |
| CFD | 売買代金 | （億円） | 268,702 | 357,374 | 258,978 | 543,589 | 476,038 | - | - | - |
| | 預り証拠金残高 | （百万円） | 70,016 | 66,332 | 67,234 | 69,183 | 72,996 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | 214,413 | 218,229 | 222,172 | 227,393 | 234,799 | - | - | - |
| 全商品 | 預り資産 | （百万円） | 1,322,817 | 1,365,045 | 1,204,131 | 1,217,022 | 1,255,462 | - | - | - |
| **GMO外貨** | | | | | | | | | | |
| 店頭FX | 売買代金 | （億円） | 1,575,046 | 1,525,944 | 1,239,763 | 1,370,381 | 1,468,493 | - | - | - |
| | 取引数量 | （百万通貨） | 1,192,420 | 1,195,777 | 953,623 | 1,027,467 | 1,123,991 | - | - | - |
| | 預り証拠金残高 | （百万円） | 106,499 | 108,670 | 113,010 | 112,592 | 117,517 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | 479,828 | 483,237 | 485,622 | 487,494 | 489,583 | - | - | - |
| CFD | 売買代金 | （億円） | | | | | 69,721 | - | - | - |
| | 預り証拠金残高 | （百万円） | | | | | 2,638 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | | | | | 13,413 | - | - | - |
| **GMOコイン** | | | | | | | | | | |
| 暗号資産 | 売買代金 | （百万円） | 2,145,921 | 1,312,000 | 1,431,679 | 1,667,875 | 1,530,518 | - | - | - |
| | 内、取引所取引 | （百万円） | 1,941,539 | 1,202,619 | 1,326,575 | 1,550,949 | 1,451,621 | - | - | - |
| | 内、販売所取引 | （百万円） | 204,382 | 109,381 | 105,104 | 116,925 | 78,897 | - | - | - |
| | 預り資産 | （百万円） | 369,226 | 431,980 | 520,564 | 405,205 | 325,025 | - | - | - |
| | 口座数 | （口座） | 729,806 | 743,412 | 761,918 | 775,971 | 799,081 | - | - | - |

※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜店頭FXのビジネスモデル

効率的なマッチングとポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求



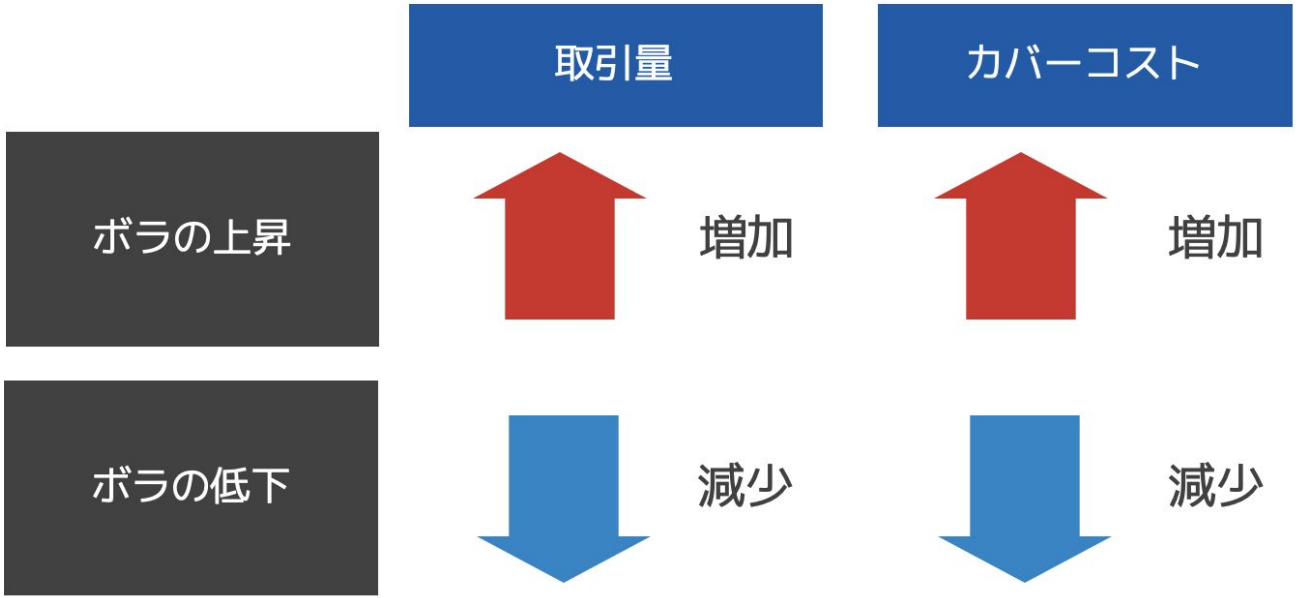

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 証券・FX事業｜店頭FXにおけるボラティリティと収益の関係

**収益構造**

対顧客取引　　カバー取引

（対顧客スプレッド × 取引数量）－（カバースプレッド ×カバー数量）



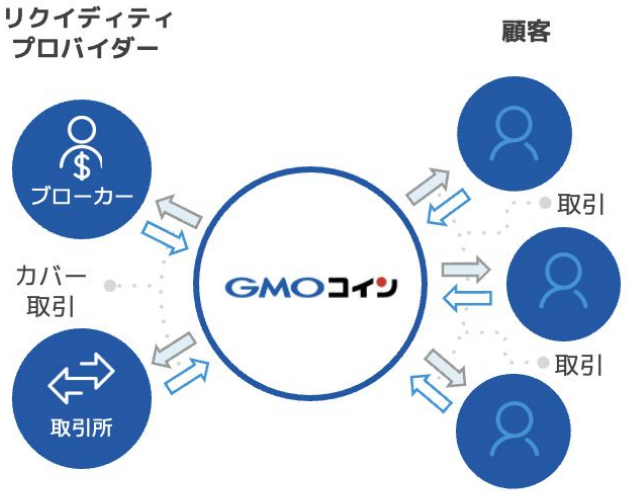

（上記は概念図）

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 暗号資産事業｜ビジネスモデル

## 販売所モデル

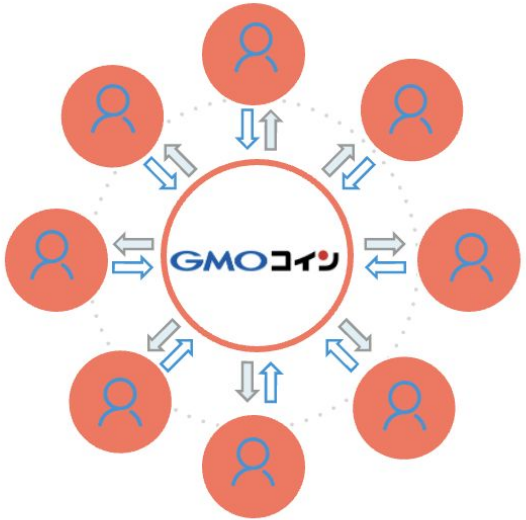
GMOコインが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ




**主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）**

## 取引所モデル

GMOコインは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る

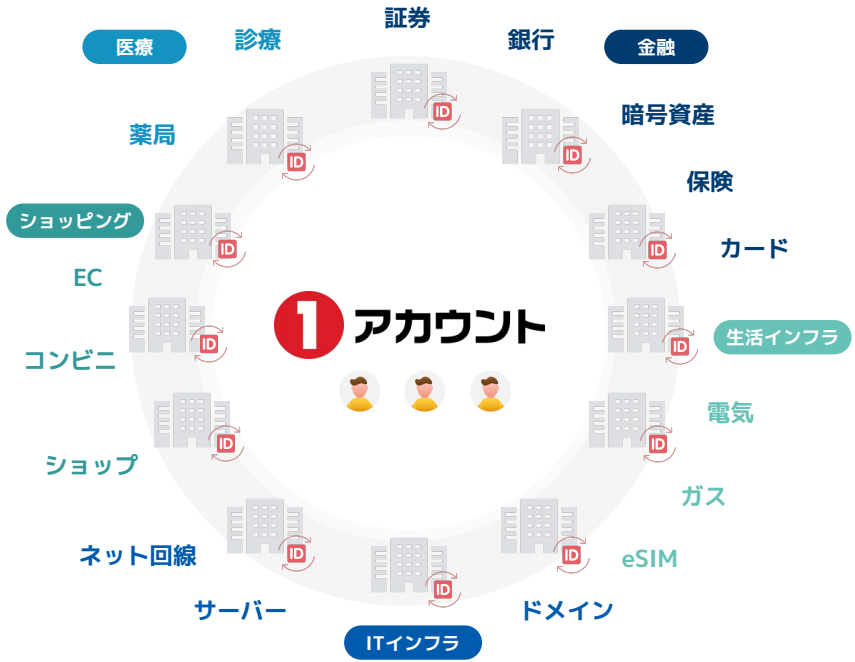



**主な収入源：取引手数料**

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# その他｜共通ID「1アカウント」起点のエコシステム構築

「1アカウント」のIDが各社サービスのハブとなることで
**効率的な顧客獲得と圧倒的に便利なユーザー体験の提供を目指す**




あらゆる企業が参加し共創する
"オープンなエコシステム"
連携企業の事業成長を加速させる
**No.1のID統合プラットフォーム** へ

---

**連携企業は段階的に拡大**

GMO INTERNET GROUP

外部企業

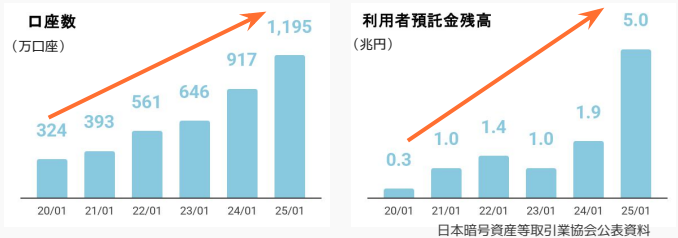
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# GMOコインの上場準備

## 外部環境の変化にスピーディに適応し持続的成長を図るため、東京証券取引所への上場準備を推進

### 国内暗号資産業界の市場規模

口座数は**約1,200万口座**、利用者預託金残高は**5兆円超**と市場は拡大




日本暗号資産等取引業協会公表資料

### 国内暗号資産業界を取り巻く環境変化

金融商品取引法改正による暗号資産の「金融商品」としての位置づけの明確化や、トークン化資産、ステーブルコインの拡大などにより、今後、業界変化が加速し、新たな金融・投資機会の創出が期待

**暗号資産ETFの解禁**　**税制改正の進展**　**投資信託への組み入れ**

- 個人投資家の裾野拡大や機関投資家の参入など、市場拡大が期待
- サイバーセキュリティやAML対策等の高度化が急務。事業者には利便性だけでなく高い信頼性と透明性が求められ、今後の新たな選別基準に

GMOコイン

**健全で開かれた暗号資産関連市場のリーディングカンパニーへ**

～暗号資産を預けるなら、GMOコイン～

### ■ GMOコイン上場の目的

**1 社会的信用の向上**

株式公開により知名度と社会的信用力を高め、優秀な人材を確保し、今後の市場拡大に対応できる強固な事業基盤を構築

**2 資金調達力の向上**

資金調達力を強化し、暗号資産ストック型サービスや外国為替FXの強化、成長分野への投資により、持続的な成長を目指す

### ■ 当社における体制変更（2026年3月19日付）

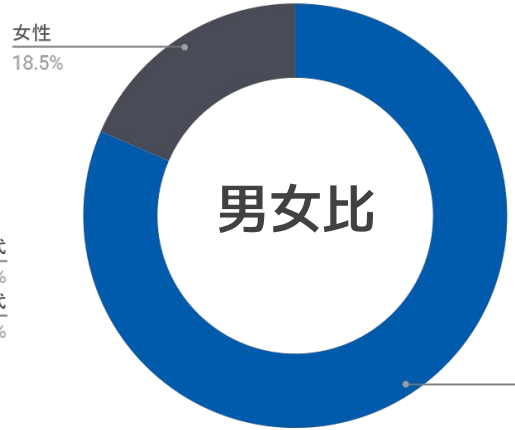
代表執行役2名体制（高島・石村） ▶ 代表執行役1名体制（高島）
石村はGMOコイン社長に専念

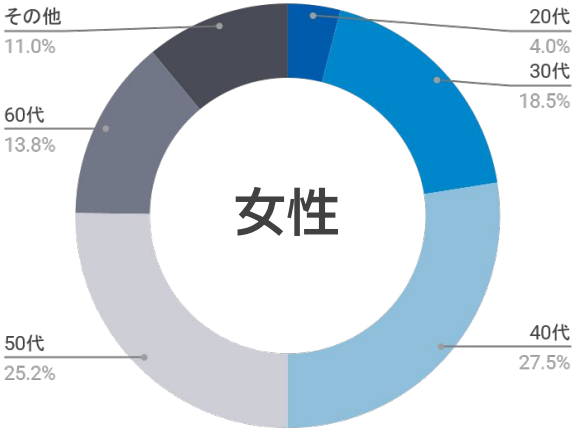
※ 株式上場は関係当局の承認が前提です。また、株式上場の準備過程における検討の結果次第では、株式上場を延期する可能性や株式上場をしないといった結論に至る可能性もあります。そのため、現時点では上場予定時期等は未定です。本記載内容は、日本国内外を問わず投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

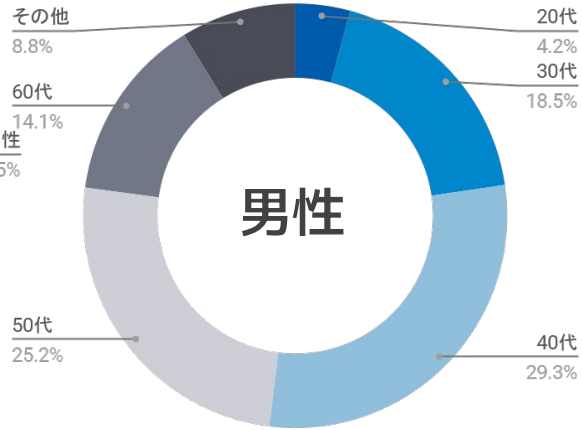
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 顧客属性｜GMOクリック証券 – 証券取引口座

GMOクリック証券



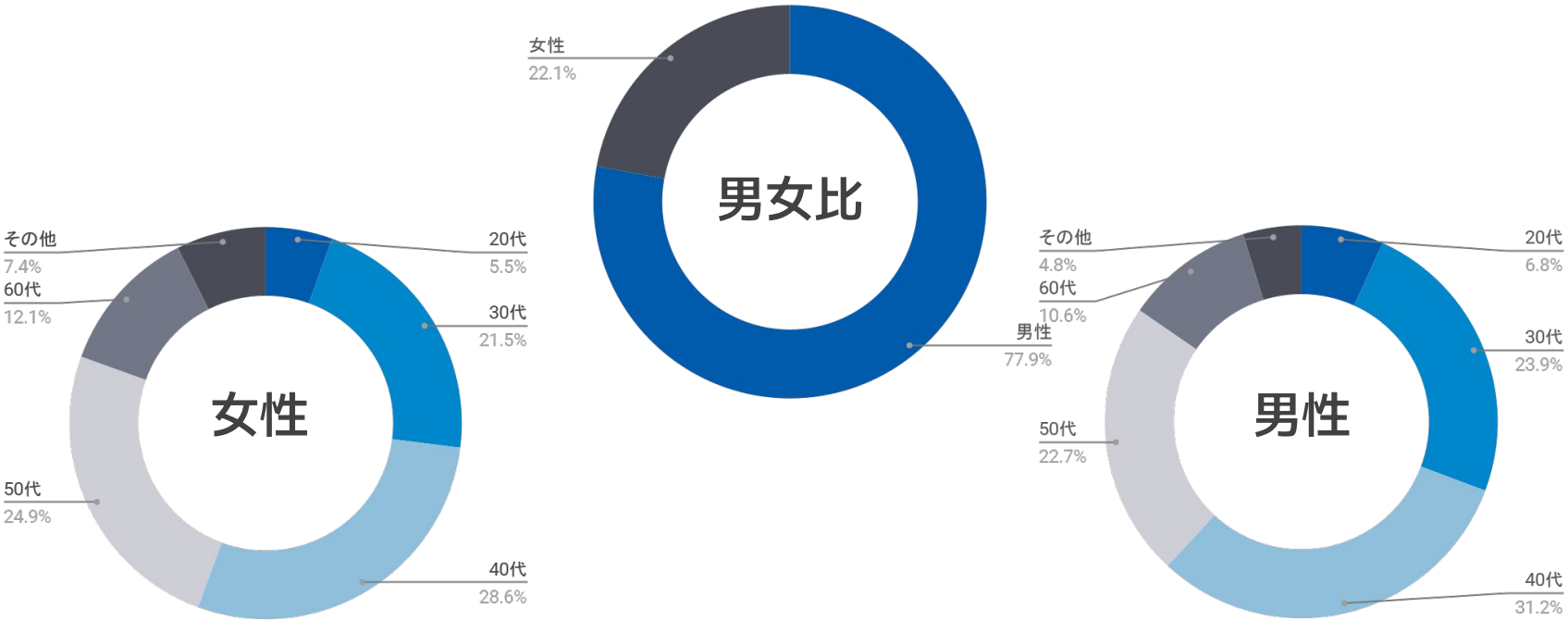




2025年12月31日現在

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 顧客属性｜GMOクリック証券 – FX専用取引口座

GMOクリック証券

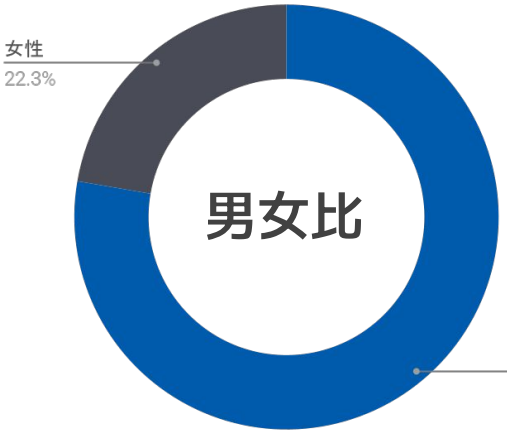


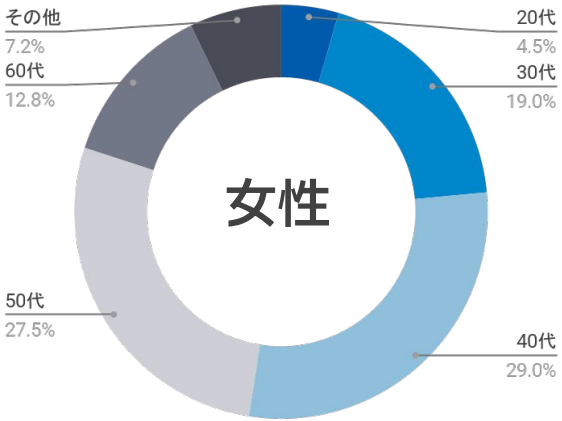

2025年12月31日現在

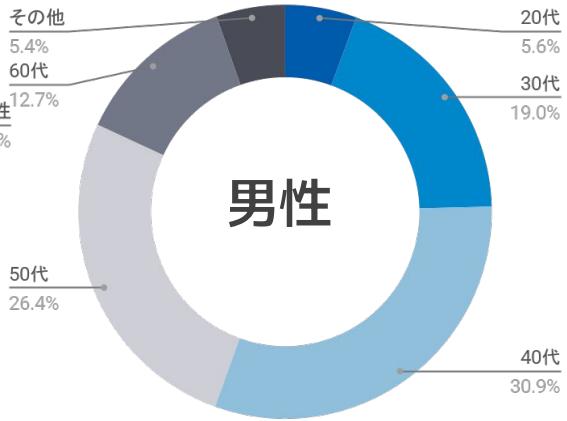
© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 顧客属性｜GMO外貨

GMO外貨



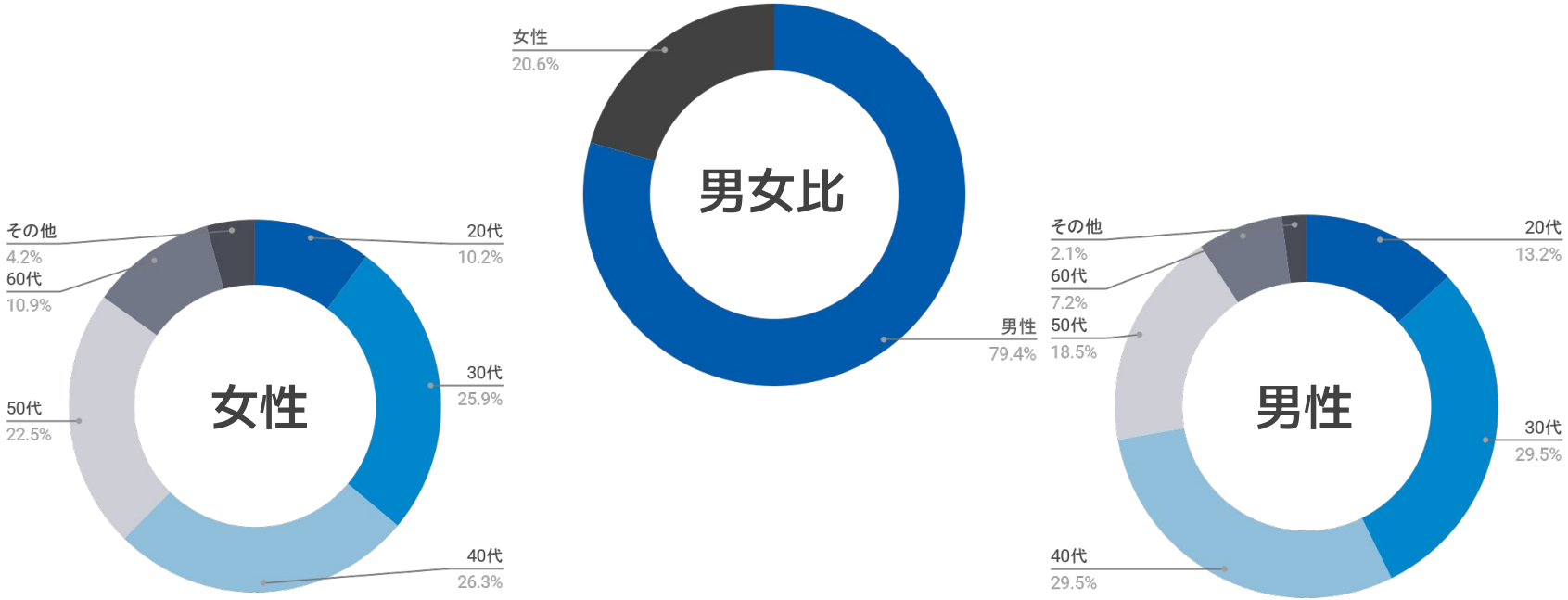




2025年12月31日現在

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 顧客属性｜GMOコイン– 暗号資産口座

GMOコイン




2025年12月31日現在

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.

# 免責事項

本資料には、2026年4月30日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。これらは、世界経済、競合状況、為替変動等に関わるリスクや天変地異などの不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。また、マーケットシェアなどの数値には一部当社推計値が含まれており、調査機関により異なる場合があります。資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。

© 2026 GMO Financial Holdings, Inc.